

# 情報連絡員報告総括表(平成28年10月分)

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況					
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化			
製 造 業	食 料 品	1	2	1		4		1	3			4		1	1	2		3	1		4			4		1	1	2			
	織 維 工 業		1	2		3			2	1		2	1			3		2	1		3			3			2	1			
	木 材 ・ 木 製 品			1		1				1			1			1		1				1		1				1			
	紙 ・ 紙 加 工 品		1	1		2			2			2				2		2				2		2				2			
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1				
	化 学 ・ ゴ ム																														
	窯 業 ・ 土 石 製 品		1	2		3			3			3			2	1		3		1	1	1		3			2	1			
	鉄 鋼 ・ 金 属	1				1			1			1		1				1			1		1				1				
	一 般 機 器	1	1	1		1	2		2	1		2	1			3		3			2	1		1	2		2	1			
	電 気 機 器			1		1				1			1			1			1			1		1			1				
	輸 送 機 器			1		1			1			1				1			1			1		1			1				
そ の 他																															
小 計		3	7	10		18	2	1	15	4		16	4	2	4	14		16	4	1	12	7	1	17	2	1	10	9			
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		2		X				1	1		1	1			
	小 売 業	1	3	2		5	1	2	3	1		4	2		3	3		3	3					5	1		3	3			
	商 店 街		1			1			1			1			1			1						1			1			1	
	サ ー ビ ス 業	2	1	2	X			1	4			5		2		3	1	3	1					1		1	4		2	1	2
	建 設 業		2	2					4			3	1		3	1		3	1					3	1		4			3	1
	運 輸 業	1							1			1			1			1						1			1			1	
	そ の 他		1							1		1				1		1						1			1			1	
小 計		4	9	7		7	2	3	14	3		16	4	2	9	9	1	14	5		1	17	2	3	10	7					
合 計		7	16	17		25	4	4	29	7		32	8	4	13	23	1	30	9	1	12	7	2	34	4	4	20	16			

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成27年10月～平成28年10月)

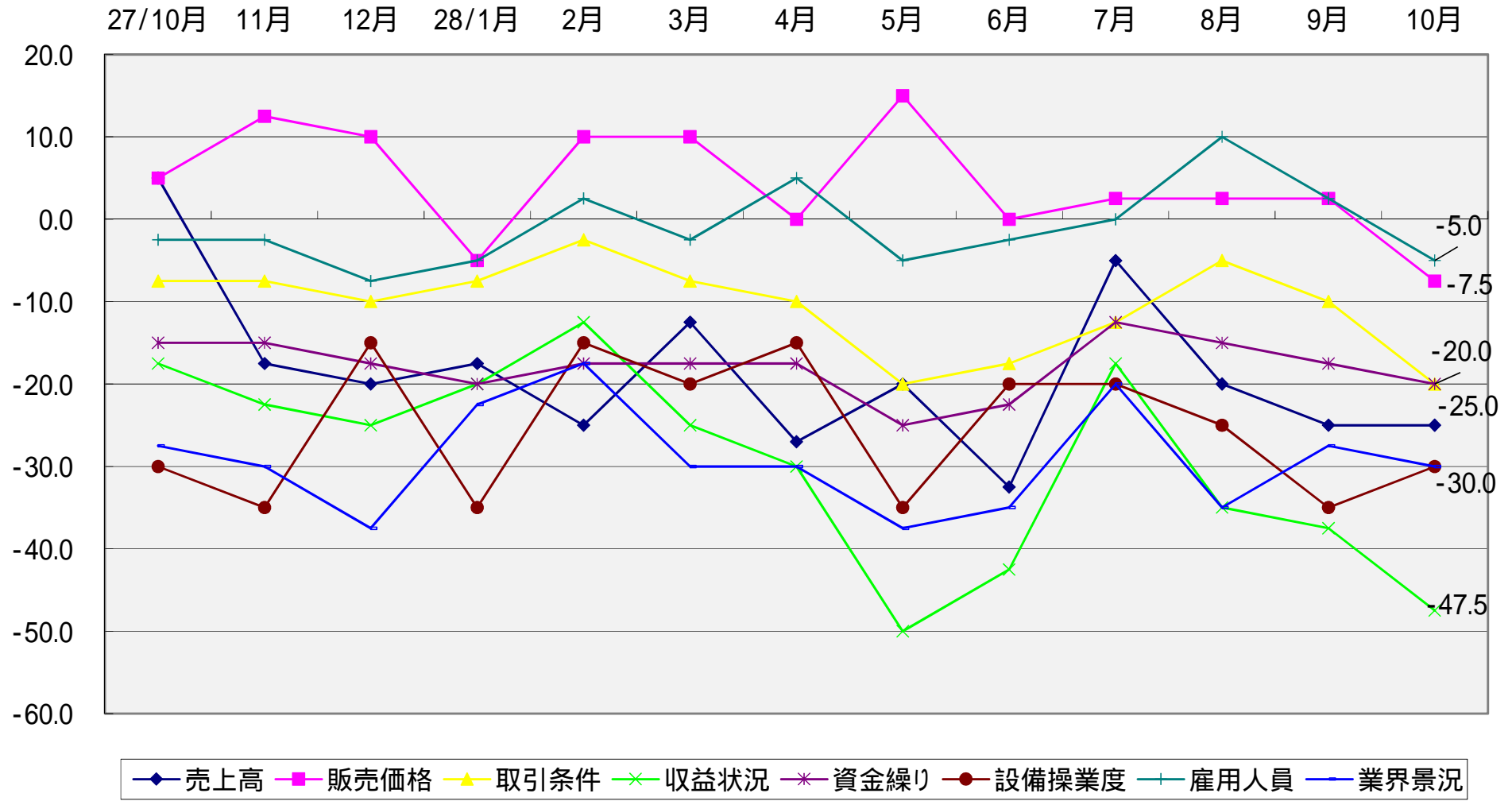
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	27/10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	増減
売上高	5.0	-17.5	-20.0	-17.5	-25.0	-12.5	-27.0	-20.0	-32.5	-5.0	-20.0	-25.0	-25.0	0.0
販売価格	5.0	12.5	10.0	-5.0	10.0	10.0	0.0	15.0	0.0	2.5	2.5	2.5	-7.5	-10.0
取引条件	-7.5	-7.5	-10.0	-7.5	-2.5	-7.5	-10.0	-20.0	-17.5	-12.5	-5.0	-10.0	-20.0	-10.0
収益状況	-17.5	-22.5	-25.0	-20.0	-12.5	-25.0	-30.0	-50.0	-42.5	-17.5	-35.0	-37.5	-47.5	-10.0
資金繰り	-15.0	-15.0	-17.5	-20.0	-17.5	-17.5	-17.5	-25.0	-22.5	-12.5	-15.0	-17.5	-20.0	-2.5
設備操業度	-30.0	-35.0	-15.0	-35.0	-15.0	-20.0	-15.0	-35.0	-20.0	-20.0	-25.0	-35.0	-30.0	5.0
雇用人員	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	2.5	-2.5	5.0	-5.0	-2.5	0.0	10.0	2.5	-5.0	-7.5
業界景況	-27.5	-30.0	-37.5	-22.5	-17.5	-30.0	-30.0	-37.5	-35.0	-20.0	-35.0	-27.5	-30.0	-2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする  
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成28年10月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	台風や秋口の天候不順等の影響で、全国的に原料野菜全般、特に、きゅうり、キャベツの高騰が続き、価格に反映出来にくい状況もあり、浅漬製造部門の経営に悪影響を及ぼしている。
		醤油味噌	10月20日～23日まで、イオン東員店で「三重しょうゆ街道」(醤油などの展示、説明、試食、即売会)を行った。年2回(4月、10月)が恒例となっている。小学校への「しょうゆの知り博士の出前授業」は、10月、11月が多く、ピークとなっている。今年度はすでに51校の応募があった。
		豆腐	8月より9月にかけて連続して台風が上陸したことで、国産大豆の収穫が心配されていたが、台風の影響は軽度で、作付面積の増加と相殺されて集荷量は平年以上を見込んでいる。
		製麺	サミットが開催されて5か月が過ぎてようやく伊勢の町にもサミット効果が出てきている。全体では、三重県の知名度も上がっており、伊勢うどんを知って、食べられる環境作りが必要である。マスコミ等で宣伝していただいている中で、益々、安全衛生を重視して、組合をあげて取り組んでいく。今後の三重県の伊勢うどんのおみやげや郷土料理をより広めていく。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	農水産物、食品、工業関係等の各分野において、生産量が増えず、段ボールの需要も低迷。昨年度を下回る実績になる。
		古紙	10月期の仕入量は、前年比：段ボール・約95%±4%、新聞、チラシ・約91±5%位、雑誌、雑紙、その他・合わせて約92±6%の中で推移している。雨や急に寒くなり歩く人が少ないのか、人が集まる場所が限られているのか分からないが、先月に続き集荷が悪い様である。為替や海外市場の相場で原料価格が乱高下しているようである。新聞雑誌等は発行部数が激減しており、また、様々な回収方法があり、集荷減の要因とも考えられる。今年は早い冬の到来になるのか?需要に期待するが、一般国民全体にお金が回らずに人口減少と高齢化による消費の減少が追い打ちをかけているように感じる。そして、大手企業の海外進出に連れて働き盛りの人とその家族が海外赴任されている場合が多く、景気の底上げラインを押し下げているように感じる。古紙の持ち去り行為はなくなる以上に活発化している様に思えてならない。
	印刷	印刷	昨年と比べた業況は不変であるが、昨年より厳しかった売上・収益等と同様で楽観できない。三重県民手帳は、10月11日の発売開始から順調に売り上げているものの、昨年より増刷した分もあるため、今後もPRや販売活動を継続する。現在、他県ではあるが、3件ほどテレビに取り上げられる予定もあり、これからの手帳購入時期に期待する。
	窯業・土石製品	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館及び伊賀・信楽古陶館とも入館者数、売上とも昨年を下回った。昨年は、NHKのBS放送の影響があり、10月になってもお好調な売上が続いていたことによるが、それを除けば、例年並みといえる。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界全体の生産量としては、9月同様で自動車関連は若干減少傾向にあり、その他の製品は増加したものと減少したものとに分かれた。半導体関連は、9月同様まだまだ増加傾向にあり、今年度はこの傾向が続きそうである。その中、人手不足もなかなか解消されず、派遣等の非正規雇用で急場は凌ぐものの、なかなか集まらず、徐々に人員増強を図っているといった状況である。
	一般機器	四日市	景況感は、不透明のまま推移している。低迷は、世界経済も含めて長期化することが懸念される。その中で、各組合員は、自助努力を続けている。
電気機器	鳥羽	下期に入り、業種としては、分岐点で動いている様子。まだまだ良い材料としての情報は無いが、下期の動きに期待している。	
輸送機器	鈴鹿	この地域に主力工場のある自動車メーカーの仕事量が減っているため、下請各社は隣県に本社のある国内最大手の自動車メーカーの仕事の系列の枠組みを超えて取り組む活動が従来以上に活発化している。	
非製造業	卸売業	肥料	全農が肥料価格を下げたため、業界全体の価格が低下しており、経営が一段と厳しくなっている。
	小売業	青果	野菜：前半、9月の長雨の影響で品薄高値。キャベツ・白菜・ほうれん草・大根・人参等全般的に当分高値が続きそうである。ジャガイモ・玉葱は入荷が安定して例年並の価格。後半、キャベツ・白菜・大根・人参の入荷少なく、きゅうり・トマトも高値となる。ジャガイモ・玉葱は北海道産が豊富に入荷された。11月中旬には、地場産の葉物野菜は値下がり予想である。果物：9月の天候不順で生育が遅れ、みかん・リンゴの入荷が少ない。後半、県内産の極早生みかん入荷。柿は豊作で味もよく、価格も安い。
自転車		自転車	上旬より、店舗型無料点検実施中ののぼり旗を掲げ、ユーザーに呼びかけたショップは、タイヤ等の交換もあって、売上において何もなかった店との差が出てきた。また、「10月6日に組合員研修会を開催した。例年より、多くの出席者があり、年々進化する電動アシスト車、通学車に使用されているベルト駆動自転車の勉強会でもあったことから、熱心に聞き入る研修会となった。下旬には、早々と2017年通学自転車早期予約セールを始めたショップも見られるようになった。

非製造業	小売業	家電	地域電器店では、メーカー主催の合同展示会が各地区で開催されている。この時期、調理家電を中心とした新製品発売を機に、実機実演による商品の提案による買い替えの促進や見込み客の掘り起こしを推進している。話題の中心商品は、4Kテレビ・LED証明器具・リフォーム等、である。業界の販売状況は、依然厳しい状況に変わりはないと思われる。
		石油	10月度の燃料油販売については、前年対比4%前後の減販内容であり、先月同様に販売価格の競争の影響により、収益が中々改善しない状況であった。原油価格の上昇により、10月は仕切り価格が3週連続で引き上げられており、今後、原油高、仕切り高は当面続く状況にある。11月は、各地域において、行楽シーズンであり、いろいろなイベントが行われると思われるので、ガソリン販売数量増販を期待したい。
		スポーツ用品	10月20日、21日と和歌山市において、組合の上部団体であるJSERA日本スポーツ用品組合連合会の28年度全国大会が開催された。当連合会の所属員は5年前は、1,500店あったが、200店舗脱退し、現在では、1,300店となっている。賦課金収入が少なくなるため、その分、事業収入を増加させようと新たな商材を考えている。
	商店街	熊野	商店街内を含めた市街地近郊の飲食店がおすすめの逸品を出して食べ歩きをするバル形式イベントが開催された。従来行われている他地域のバルイベントより広域という不利な点があったが、タクシー会社と連携し、格安料金での移動もできるように工夫した結果、大いに盛り上がった。今後も継続していく予定。
	サービス業	旅館	伊勢志摩サミットで出控えていたのが、やっとここにきて動き出したようで、伊勢志摩地区は前年対比10%~20%増のようである。この好調な集客が県下各地に波及したのか、どこも賑わっていた。この好調さが第三、四半期だけでなく、さらに長く続くことを切望しているところである。
		警備	受注に対して、警備員数が不足状態にある。
	建設業	内装工事業	今年度の動きから、上下動が激しく、10月は悪い方へ落ちてしまった。この流れは年末まで続く恐れがある。対前年同月比は、減少となった。
		水道工事業（四日市）	10月は特に大きな変化は見られなかった。人手不足の状況は続いているようには思われるが、大きな影響を与えるようなものではないと考えている。
	運輸業	トラック	燃料価格が上昇傾向にあり、経費上昇を危惧している。

### 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	
食料品	製麺	今後の伊勢うどんの取り組み等、HACCPの支援、助成金の情報提供をお願いしたい。
一般機器	四日市	国内需要が活発でない。円高、デフレ等に日本経済は一向に上昇気配をみせない。国の無策を案じてしまう。
	伊勢	時間外労働を削減していかなければならないが、人の確保が難しくなっており、中小企業にとっては、厳しい経営環境となっている。障がい者雇用率についても、更に引き上げるべく各種対策をとっていきたい。
サービス業	旅館	伊勢志摩サミットによる「賢島」の知名度UPによる集客力はすごいもので、これが周辺に及ぶような対策を早急に官民あげて取り組む必要がある。